校外まなびの教室について

浜松市から委託を
受けた事業です。

NPO 法人はままつ子どものこころを支える会（すまいる）

目　次

１．NPO 法人はままつ子どものこころを支える会（すまいる）について　ｐ　２

２．校外まなびの教室の紹介　ｐ　４
（１）おあしす教室（南区：旧立志館）　ｐ　６
（２）おれんぢ教室（北区：浜松市教育会館）　ｐ　８
（３）かやの木教室（浜北区：浜北地域活動・研修センター）　ｐ１０
☆　コラム①　チャレンジ教室の紹介　ｐ１３
（４）くすのき教室（中区：アイミティ浜松）　ｐ１４
（５）くろーばー教室（西区：はままつフラワーパーク内）　ｐ１６
（６）すぎのこ教室（天竜区：ほっとエリア阿多古<旧下阿多古中学校>）　ｐ１８
（７）とびうお教室（西区：舞阪協働センター）　ｐ２０
（８）ひまわり教室（北区：みをつくし文化センター）　ｐ２２
（９）まつのき教室（南区：いきいきプラザ天竜川　２階）　ｐ２４
（10）ふれあい教室（中区：浜松市立青少年の家）　ｐ２６
☆　コラム②　ミニチャレンジ教室の紹介　ｐ２９

３．校外まなびの教室への入級までの流れ　ｐ３０

４．校外まなびの教室の見学について　ｐ３２

５．校外まなびの教室の体験について　ｐ３３

６．校外まなびの教室の入級について　ｐ３４

７．入級後について　ｐ３５

８．校外まなびの教室Ｑ&Ａ　ｐ３６

９．子ども・卒業生・保護者の声　ｐ３８

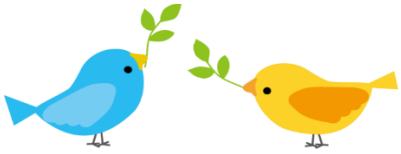
１．NPO 法人はままつ子どものこころを支える会（すまいる）について

子どもたちは本当に大変な時代を生きていると思われます。日本の子育て文化は崩れつつあり、人間関係の希薄化、母子の孤立、仮想世界の台頭、虐待など、子どもが育つ環境は悪化の一途を辿っています。

子どもたちの２０、３０年後の姿を想像することもよくあります。おとなたちの中(我々のこころの中)にも、常に子どもがいます。大事にされた経験、世話をされた経験、人の優しい温かい情に触れた経験があるかどうかが、その人の人となりを作っています。もちろん、苦労や耐え難い経験も同じです。それらが、今のおとなを見ていても、子どもをみているときと同じように、心に迫ってきます。この子たちがおとなになった時も、幸せな子どもをこころの中に宿しているおとなになってもらえればと思います。そうすれば、次の世代の虐待も不登校も格段に減るでしょう。反対に、悪化が続けば悲惨なことになると思っています。

おとなから変わるべきですが、もちろん、その人なりに頑張ってきた方の人生に口を出すなどできません。でも、子どもにはすべてのおとなが責任を持つべきであり、そうありたいと思っている自分がいます。

根本から変わるには、浜松市の地域から教育を支えていこうと、日々子どもたちと向き合い関わっている有志が集まり勉強会が立ち上がりました。その中から地域で子どもや教育を支える実効的なネットワークを構築していく必要があると考え、平成 27 年にＮＰＯ法人を設立しました。子どもたちの主要な生活の場は学校です。人とつながって生きていく基盤ができるときです。昨今、コミュニティスクール等と言われるようになってきました。つながるという基本を実践できる、本質から子どもたちと向き合う制度に成長していってほしいと願っております。その一翼を担えればと思っております。



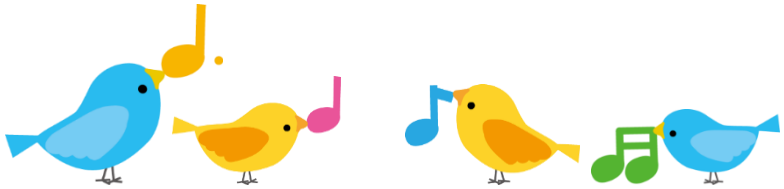
平成 30 年度より浜松市から「校外まなびの教室」の運営を委託され、市内 10 カ所の教室の運営を行っています。不登校児童生徒が将来社会人として豊かな人生を送っていくことができる力が育まれるように活動しています。悩んだり行き詰ったりした人ほど、しっかりと救われる必要があります。行き詰った時に人の温かさに触れた時に、人は救われ、反対に人を救える人になっていきます。そういう実践の場になることを願って、関わっております。子どもたちと向き合った人の人間性が子どもたちに伝播していきます。教育とは、そういう素敵な相乗効果が起こる場だと思います。

子どもたちに関わる保育士や教員の子ども理解をすすめるために「ピンポイント研修会」や「事例検討会」などの人材育成・研修会を実施しています。お互いに切磋琢磨することが最も大事だと思っています。それが、子どもとかかわるときのおとなの礼儀だと思います。

社会が複雑化し、価値が多様化する中で子どもたちや保護者が抱える問題も様々に多面化しています。その子どもたちや保護者を支えていくためには、皆さんと協力していくことが必要だと思います。子どもたちや保護者がもつ問題に対して、様々な視点や知恵によって支えていけることは大切なことであると考えています。

また、我々自身が常に「つながる」ということを実践することが大事だと思っております。つながるということは、我々の本質の目標でもありますが、決して心地いいばかりではありません。同じように思っても実は微妙に食い違いがあったり、もともとかなり性向が違っていたり、意見の食い違いが起こるかもしれません。それらを乗り越えてつながるということが、子どもに対しても何か伝えられるのではないかと思っています。ただ、子どもの幸せを願うという一点では、皆で共有できると思っております。

NPO 法人はままつ子どものこころを支える会(すまいる)
代表理事　　大嶋　正浩



２．校外まなびの教室の紹介

校外まなびの教室は、浜松市から委託を受けて実施している事業になります。

現在、浜松市内には１０カ所の校外まなびの教室があります。校外まなびの教室は、学校に行くことが難しい子どものための教室です。自由時間での他児やおとなとのふれあいの時間やスポーツや遠足、創作活動などの体験の時間、自主学習や読書などの活動を行っています。また、学区に関係なく、どの教室にも通級することが可能です。また、登室した日の出席扱いについては学校が判断します。

対象　：　浜松市内の小・中学校に在籍している不登校の状態にある児童生徒

活動場所：

（１）おあしす教室　（南区：旧立志館）

（２）おれんぢ教室　（北区：浜松市教育会館）

（３）かやの木教室［個別対応型教室併設］　（浜北区：浜北地域活動・研修センター）

（４）くすのき教室　（中区：アイミティ浜松）

（５）くろーばー教室（西区：はままつフラワーパーク内）

（６）すぎのこ教室　（天竜区：ほっとエリア阿多古＜旧下阿多古中学校＞）

（７）とびうお教室　（西区：舞阪協働センター）

（８）ひまわり教室　（北区：みをつくし文化センター）

（９）ふれあい教室［個別対応型教室併設］　（中区：浜松市立青少年の家）

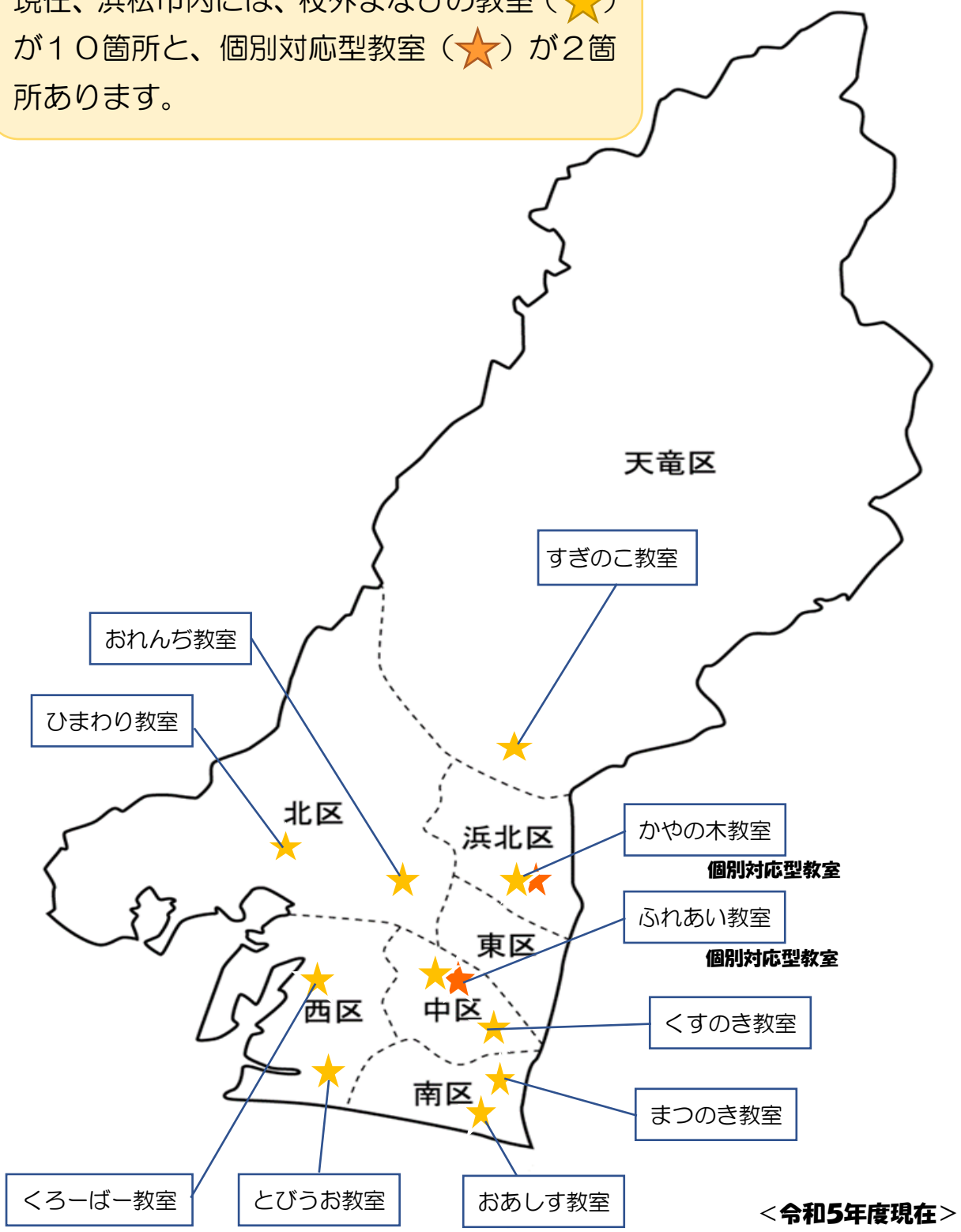
（10）まつのき教室　（南区：いきいきプラザ天竜川　２階東部保健福祉センター）

開室日時：　＊土日は全教室休室です。実施日時は各教室により異なります。

（１）おあしす教室	月曜休室	９：００～１４：００
（２）おれんぢ教室	月曜休室	９：００～１４：００
（３）かやの木教室	月曜休室	９：００～１４：００
（４）くすのき教室	金曜休室	９：００～１４：００
（５）くろーばー教室	月曜休室	９：００～１４：００
（６）すぎのこ教室	月曜休室	９：００～１４：００
（７）とびうお教室	金曜休室	９：００～１４：００
（８）ひまわり教室	金曜休室	９：００～１４：００
（９）ふれあい教室	月曜休室	９：００～１４：００
（10）まつのき教室	金曜休室	９：００～１４：００

※教室の都合により終わる時間が早まる日があります。

現在、浜松市内には、校外まなびの教室（★）が１０箇所と、個別対応型教室（★）が２箇所あります。



学区に関係なく、どこの教室も入級可能です。

各教室により様々な特色があります。それぞれの教室の紹介をしていきたいと思います。

おあしす教室

「え～っ。ここに教室があるの。」・・・そして一歩家の中に入ると、「わぁ。秘密基地みたい。」　そんな声が聞こえてきそうなのが、本年度新しくできた 10 番目の校外まなびの教室「おあしす教室」です。場所は浜松市南区三島町、南部中学校の南にあります。

ここは、以前「立志舘」と呼ばれ、昼間は不登校などの様々な事情を抱えた子ども達のための居場所であり、夜間は自学を中心とした塾でした。今回、浜松市教育委員会を通して、校外まなびの教室の新設室として使わせていただくことになりました。おあしす教室の「おあしす」は、当時昼間、立志舘に通ってきていた子ども達の居場所を「おあしす」と呼んでいたので、それをそのまま使いました。

おあしす教室では、子どもたちが学校や社会で生活するための基礎づくりのお手伝いをしたいと思っています。そのために、おあしすタイムで行う活動に力を入れていきます。また、学習タイムの時間は、それぞれの子どもたちの現状に合わせて、学習内容を相談しながら実施していきます。

子どもたちには、

・今のありのままの自分を大切にしていいんだよ。
・前向きな行動ができたときには自分をほめようよ。
・自然や季節、言葉や表情に思いっきり親しんでみようよ。
・手や足を使い、運動や音楽、絵画工作などの中から楽しめるものを見つけようよ。
・友達と一緒の活動にも楽しいことがあることを感じてほしいな。

といった声掛けをしていきたいと思っています。

１）活動場所

〒４３０－０８５３　　浜松市南区三島町１０３９－４
遠鉄バス三島町バス停から徒歩５分
おあしす教室 TEL：090－5994－5132

２）開室時間

開室日：火曜日～金曜日　９：００～１４：００
休室日：月・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み
※ 活動内容によって、日時が変わることがあります。

３）「おあしす教室」の１日の流れ

時　　間	日　　課	内　　容
９：００～	開室 ウォームアップ	一日の準備をしてから、友達とゆっくり過ごします。
９：４０～	学習タイム①	自分で決めた学習をします。
１０：３０～	おあしすタイム①	その日の活動をします。※隔週で「ふわふわタイム」
１１：５０～	昼食、休憩	持参したお弁当を食べます。
１２：２０～	学習タイム②	自分で決めた学習をします。
１２：５０～	おあしすタイム②	その日の活動をします。
１３：４０～	清　　掃	全員で清掃をします。
１３：５０～ １４：００	振り返りタイム 閉室	今日の振り返りと次の日の活動の確認をします。

※昼食はお弁当を持参してください。
※活動内容によって、日課が変わることがあります。

４）主な活動（おあしすタイム）

・ウォームアップ：カードゲームやいろいろな遊びを楽しんだり、読書など一人でゆっくりしたりする活動をします。
・学習タイム①②：教科書やワークを持参して、自分の課題に取り組みます。
・おあしすタイム①②：教室を出て公園に出かけ、いろいろな活動をします。
ものづくり体験（プラ板、折り紙、工作、手芸など）をします。
ホットプレートなどでクッキングをします。
隔週金曜「ふわふわタイム」では、遊びなどを通して、コミュニケーションや人とのかかわり遊びなどを行います。
遠足やクリスマスなどの行事をします。
草取りや清掃などの奉仕活動を行います。
※体験学習：チャレンジ教室などの行事に参加します。

おれんぢ教室

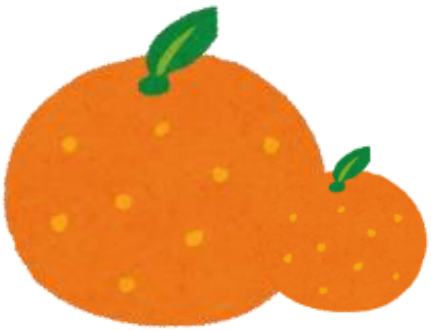
「おれんぢ教室」は、浜松市北区東三方町の浜松市教育会館の２階にあります。通ってくる子どもたちは、北区・東区・西区・浜北区など広範囲にわたっています。

「おれんぢ教室」の名前の由来は、浜松市の花である「みかん」と、自分の家にいるような“ホッ”と出来る場所になって欲しいとの願いから「俺ん家」をかけて「おれんぢ教室」という名前になりました。子どもたちが、心穏やかに生活できる居場所となるような教室にしていきたいと思っています。

おれんぢ教室では、子どもたちが学校や社会で生き生きと生活するための基礎作りを目標にしています。特に、体験的・創造的な活動に力を入れています。学習の時間は、子どもたちそれぞれの現状に合わせて、学習内容を相談しながら実施しています。また、創作活動の時間では、様々な活動を通して、子どもたち同士の交流の場を作り、関わり合う事の楽しさを味わえる時間も作っています。

学校や社会で生き生きと生活できることの基礎作りのために指導員は、以下のような援助をしていきます。

- 一人ひとりの状況に合わせた対応をしていきます。
- 少しずつ、人と安心して関われるように援助します。
- 保護者と面談を行い、家庭と手を携えながら援助します。
- 学校と連携をとりながら、援助します。
- 様々な活動を通して、気持ちが少しずつ学校に向くように手助けをします。



１）活動場所

浜松市教育会館

〒433-8104　　浜松市北区東三方町１４９－２

・遠鉄バス　赤松坂バス停 徒歩５分、東三方バス停 徒歩６分

おれんぢ教室 TEL：090－2619－4503

２）開室日時

開室日：火曜日～金曜日　　９：００～１４：００

休室日：月・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって日時が変わることがあります。

３）「おれんぢ教室」の１日の流れ

時　　間	日　課	内　容
9：00 ～　9：30	ウォーミングアップ	１日の準備をします。
9：30 ～ 10：15	学習①	自主学習を基本として行います。
10：15 ～ 11：20	創作活動①	曜日によって活動を変えて行います。
11：20 ～ 11：30	移動・準備	手洗い・検温・食事の準備をします。
11：30 ～ 12：15	昼食・休憩	みんなで、お弁当を食べます。
12：15 ～ 13：00	学習②	自主学習を基本として行います。
13：00 ～ 13：45	創作活動②	季節の工作やものづくりなどをします。
13：45 ～ 14：00	清掃・振り返り	部屋の掃除をし、振り返りをします。

※昼食はお弁当を持参してください。

※活動内容によって日程が変わることがあります。

４）教室独自の活動

・創作活動①の内容

火曜日：公 園 ス ポ ー ツ… 近くの広場で、ドッジボールなどで体を動かします。

水曜日：おれんぢタイム … 自分が自主的に決めた活動（ゲーム・スケッチ・パズル等）を自分のペースで活動する時間です。

木曜日：行　事　準　備 … 各種の行事の準備等を行います。

金曜日：キラキラタイム（隔週）…コミュニケーション遊びや関わり遊びをします。

・その他 …不定期で奉仕作業、室外活動などもします。

かやの木教室

「かやの木教室」は、浜北区にある教室です。火曜日から金曜日の４日間、９時から１４時まで、決められたスケジュールに沿って活動しています。主には学習や運動をしたり、交流活動をしたりしています。ふれあいタイムは、読書・イラスト・折り紙・おしゃべり・カードゲームをするなど、その日の気分でやりたいことを自分で決めてそれぞれ楽しんで過ごしています。

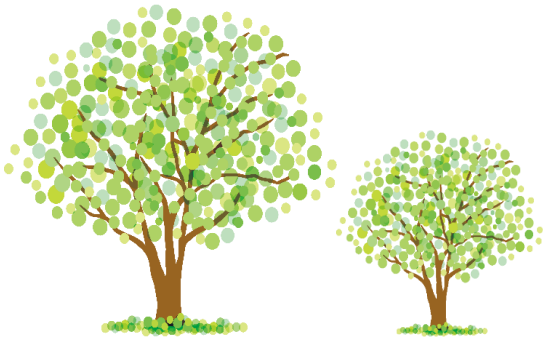
たまに、子どもたちからの提案で散歩に出かけることもあります。自分の気持ちを素直に発信し、そしてそれが実現するようみんなで知恵を出し合えるような雰囲気作りも心がけています。また、社会のマナーなどを、日々の生活を通して伝えていきたいと考えています。『今、何をする時か』を子どもたちに問いかけたり、教室の整理整頓をしたり、無理のない範囲で意識しながら生活することを大切にしたいと考えています。

通級しているのは小中学校の年齢の異なる子どもたちですが、活動を通して様々な関わりを持ちながら毎日ゆったりと過ごしています。

毎月の行事として、調理実習があります。メニューは、毎回テーマを決めて子どもと指導員で考えます。調理実習の前日には、近所のスーパーまで買い出しに行き、生活の中で必要な様々な体験を重ねています。その他、季節の行事をみんなで楽しむこともしています。

ご家庭や学校との情報交換として面談を行い、自分なりの方法で登校することにチャレンジできるよう支援もしています。

常に子どもの気持ちに寄り添い、思いを受け止め、かやの木教室が子どもたちの安心できる居場所になるようにと思い活動しています。



１）活動場所

浜北地域活動・研修センター

〒434 - 0015　浜北区於呂 2829－1

・遠州鉄道 岩水寺駅 東出入口から徒歩１分

かやの木教室 TEL：090－1410－1096

２）開室日時

開室日：火曜日～金曜日　　９：００～１４：００

休室日：月・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって日時が変わることがあります。

３）「かやの木教室」１日の流れ

時間	日課	内容
9：00 ～ 9：20	ウォームアップタイム	１日の準備をします。
9：20 ～ 10：00	ふれあいタイム	カードゲームや読書などその日の気分で各々が自由に過ごす時間です。
10：00 ～ 11：00	学習タイム①	自分で決めた勉強をします。
11：00 ～ 12：00	かやの木タイム (行事・運動・SST 他)	人と関わる楽しさを味わい、練習をする時間です。
12：00 ～ 12：30	昼食	持参したお弁当を食べます
12：30 ～ 13：00	ふれあいタイム	外で遊んだり、カードゲームをしたり自由に過ごす時間です。
13：00 ～ 13：30	学習タイム②	自分で決めた勉強をします。
13：30 ～ 13：40	清掃	全員で部屋の掃除をします
13：40 ～ 13：45	振り返りタイム	一日を振り返ります。
13：45 ～ 14：00	帰りの会	次の日の活動内容等の確認をします。

※昼食はお弁当を持参してください。

※活動内容によって、日課が変わることがあります。

４）主な活動（かやの木タイム）

- 毎週火曜日は研修センターの講堂でバドミントンや卓球など自分でやりたい遊びで楽しく体を動かします。
- 毎週金曜日は、「ほわほわタイム(SST：ソーシャルスキルトレーニング)」を通してコミュニケーションや人とのかかわり遊びをする時間です。
- 月１回程度、調理実習をします。全員でメニューを決め買い出しに行く体験もします。
- 不定期で季節の行事、創作活動、書写体験、地域散策など様々な活動をします。

かやの木教室内　個別対応型まなびの教室

令和３年度から、かやの木教室内に、開設されました。児童生徒一人ひとりに寄り添いながら、学校復帰や社会的自立を支援する教室です。児童生徒は、かやの木教室の中で活動します。活動は、できることから始め、無理のない取り組みができるよう配慮しています。

入級時には、児童生徒が安心できる居場所となるよう、保護者・児童生徒・教育総合支援センター・学校・医療機関と連携を取り、支援体制を整えています。

また、保護者面談、担任面談、親子面談などを行っていきます。

かやの木教室の行事に、参加できることから一緒に行っていきます。参加については、一人ひとりの思いを大切にして判断していきます。

指導員の支援については、児童生徒３名に対し指導員２名を基本としていますが、児童生徒１名に対し指導員１名の支援をする場面もあります。
一人ひとりに応じた対応を心がけ、一人ひとりに寄り添って支援を行う教室です。

コラム①　チャレンジ教室の紹介

チャレンジ教室は、浜松市内の不登校児童生徒と校外まなびの教室に通級する全ての児童生徒、保護者を対象とします。

年間６回、ほっとエリア阿多古(旧下阿多古中学校を拠点とする天竜区の阿多古地域全体）やはままつフラワーパークで様々な自然体験活動や講座を実施します。地域との交流を通して田植え・稲刈りの農作業体験や、川遊びやマス釣り等の自然体験を存分に味わうことができます。令和４年度のマス釣り体験では、児童生徒、保護者、関係者合わせて２７５名が参加しました。移動方法は大型バスなどを利用（交通費無料）しています。

自然の中で元気になれ

田んぼは楽しかったです。またやりたいです。天気が良くてすごくうれしいです。（小

田植えという貴重な体験を子供にさせてあげられたこと、親として大変ありがたく思っています。（保護

くすのき教室

くすのき教室は、中区船越町にあるアイミティ浜松の中の１階に教室があります。通っている子どもたちは中区、東区、南区など広範囲にわたっています。通常、月曜日から木曜日の週４日、９時から１４時までの５時間活動をしています。

アイミティ浜松は様々な人たちが利用している施設です。教室は１階のロビーにあるので時々にぎやかになることがあります。

週１回、火曜日には隣接する体育館でバドミントン、卓球、ドッジボールなど軽い運動をしています。また月１回調理室でクッキングもしています。メニューは季節を考えながら決めています。食材はみんなで近くのスーパーへ買い出しに行きます。予算に限りがあるのでメンバーで相談しながら工夫して買っています。

指導員は３名で様々のことに対応しています。教室の特徴としては、学習の時間はみんな集中してそれぞれの課題に取り組んでいます。教える方もやりがいを持って指導しています。

さらに教室では季節に応じて行事を取り入れています。今年もみんなで作った七夕飾りを笹竹につけ、アイミティ浜松の玄関に飾りました。文芸大散策（ランチ）、花の苗植え、初詣（八幡宮）、凧揚げ、陶芸教室、豆まきなど、みんなで楽しく活動しています。

１）活動場所

アイミティ浜松

〒４３０－０９１３　浜松市中区船越町１１－１１

・遠鉄バス　船越町バス停 徒歩４分

くすのき教室 TEL：080－2631－5472

２）開室日時

開室日：月曜日～木曜日　　９：００～１４：００

休室日：金・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって日時が変わることがあります。

３）「くすのき教室」の１日の流れ

時　間	日　課	内　容
9：00～10：00	くすのきタイム①	カードゲームや読書など自分の好きなことをしてゆっくりと過ごします。
10：00～10：50	学習タイム①	自分で決めた勉強をします。
11：00～11：45	プログラム(創作活動)	個々で作るものもあれば、全員で一つの作品を仕上げることもあります。
11：45～12：15	ランチタイム	持参したお弁当を食べます。
12：15～12：45	学習タイム②	自分で決めた学習をしたり、疑問点を指導員に教えてもらったりします。
12：45～13：30	くすのきタイム②	自由時間になります。
13：30～13：45	清掃	
13：45～14：00	振り返り・帰りの会	次の日の活動の内容等の確認をします。

※昼食はお弁当を持参してください。

※活動内容によって日課が変わることがあります。

４）主な活動

・毎週火曜日はアイミティ浜松の体育館でバドミントン等の軽スポーツを行っています。

・月１回程度、調理実習をします。全員でメニューを決め、買い出しも行きます。

・不定期で近くの公園へ散歩に出掛けたり、外部の講師を招いたりして活動しています。
（読み聞かせ、囲碁・将棋、絵手紙等）

・アイミティ浜松の花壇の手入れや、季節の行事を行います。

くろーばー教室

花と緑に囲まれたくろーばー教室は、フラワーパークの正面玄関を入って５００メートルほどのところにあります。子どもたちは、美しい花や樹木、緑鮮やかな芝生に迎えられて登室してきます。フラワーパークは、四季折々の花々が織りなす憩いのガーデンです。特に３月下旬から４月中旬には、色とりどり５０万株のチューリップと１３００本の桜が競演し、美しい春爛漫の風景が広がります。４月下旬になると、藤の花やバラ、６月にはハナショウブやアジサイ、夏はヒマワリ、秋になるとキクや秋のバラ、そして、冬はロウバイなど、一年中、子どもたちの心を癒してくれます。

子どもたちは、明るくてとても素直です。小学生も中学生も仲が良く、何でも話し合える家庭的な雰囲気です。朝の会が終わると、花の水やりとラジオ体操を行います。花の観察や体操で体がすっきりとしてきます。学習時間は、自分で学習計画を立てて、静かに勉強しています。金曜日のわくわくタイム（ソーシャルスキルトレーニング）は子どもたちのお楽しみの活動です。

くろーばー教室の一番の特色は、「花育」の活動です。フラワーパーク職員さんに教わりながら、いろいろな花や野菜を育てています。小さな種から美しい花が咲き始めると、子どもたちは感動します。また、その他、６月の梅の収穫や２月のシイタケの菌打ち体験もできます。収穫した梅で作った梅ジュースや調理したシイタケを昼食時においしくいただいています。くろーばータイム（交流活動）は、みんなでトランプやウノなどのゲームをしたり、折り紙や季節ごとの掲示物を作って教室を飾ったりしています。天気の良い日には、フラワーパーク内を散策したり、広い芝生でバドミントンやグランドゴルフ、ソフトバレーボールなどで体を動かしたりしています。

１）活動場所

はままつフラワーパーク内

〒４３１－１２０９　浜松市西区舘山寺町１９５番地

・遠鉄バス　フラワーパークバス停　徒歩１０分

くろーばー教室 TEL：080－8254－8640

２）開室日時

開室日：火曜日～金曜日　　９：００～１４：００

休室日…月・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって日時が変わることがあります。

３）「くろーばー教室」の１日の流れ

時　間	日　課	内　容
９：00 ～　９：40	始まりの時間	登室し、友達とゆっくり過ごします。
９：40 ～ 10：10	フラワータイム	朝の会、花の水やり、ラジオ体操をします。
10：10 ～ 10：20	朝読書	好きな本を静かに読みます。
10：30 ～ 11：00	学習の時間①	自主勉強を基本に行います。
11：10 ～ 11：40	くろーばータイム①	カードゲームなど屋内交流活動をします
11：45 ～ 12：20	ランチタイム	音楽やお話を聞きながら昼食をとります。
12：30 ～ 13：00	学習の時間②	自主勉強を基本に行います。
13：10 ～ 13：40	くろーばータイム②	宝探し、園内散策など屋外活動を中心に行います。
13：40 ～ 14：00	帰りの活動	帰りの会、清掃、花の水やり、振り返りをします。

※昼食はお弁当を持参してください。　※内容によって日課が変わることがあります。

４）主な活動

- 花育として月一回フラワーパーク職員さんのご指導の下、種から季節ごとに花や野菜を植えています。また、毎日の日課として、水やり、花の手入れを行っています。
- 交流活動の一つにＳＳＴを積極的に取り入れ、人間関係作りやコミュニケーション作りに力を入れています。
- フラワーパークの園内散策を随時行っています。
- 芝生広場でスポーツを積極的に行っています。
- 手芸、折り紙、ペーパークイリング等の創作活動を行っています。
- ミニチャレンジ教室では、しいたけの菌打ち体験を行っています。
- フラワータイムを日課に位置付け、花の水掛けなど草花に親しむ時間を設けています。

すぎのこ教室

すぎのこ教室は、天竜区旧下阿多古中学校の校舎を活用し、安心して過ごせる子どもたちの居場所として活動しています。

校庭の前には清流阿多古川が流れ、木々の緑や鳥の声に包まれた自然豊かな環境です。様々な体験活動を通して、家庭や学校、関係機関と連携をとりながら、子どもたちの学校復帰を目指し、社会的自立を支援しています。

毎月の活動は、子どもたちの希望も取り入れて計画しています。毎日の学習は、一人一人に応じて進め、図工や家庭科、おもしろ実験なども行っています。それ以外にも、季節の野菜や花作り、川遊びや釣り、スポーツや散策、食事や菓子作り、野外炊飯など、四季を感じながら色々な活動を行っています。地域の方々にも温かく支えていただき、毎年、米作りや果樹の収穫、しめ縄作り、陶芸やボート教室、施設見学なども体験しています。

隔週木曜日には心理士が支援に加わり、子どもたちの心に寄り添って、楽しく行えるソーシャルスキルトレーニングを実施しています。

「すぎのこ教室は、苦手なことを練習するところ」と、子どもたちには伝えています。様々な活動を通して仲間や地域とつながることで、子どもたちは自信を取り戻し、一歩を踏み出していきます。

１）活動場所

ほっとエリア阿多古（旧下阿多古中学校新館）

〒４３１－３４２７　　浜松市天竜区上野９４８

・天竜ふれあいバス（デマンド運行）　熊・阿多古線「上ノ島」停留所すぐ

すぎのこ教室 TEL：０９０－７０４３－８５１８

２）開室日時

開室日：火曜日～金曜日　　９：００　～　１４：００

休室日：月・土・日曜日・祝日・夏休み・冬休み・春休み

※活動内容によって日時が変わることがあります。

３）「すぎのこ教室」の１日の流れ

時　間	日　課	内　容
９：00 ～　９：30	ウォームアップタイム	自由に過ごします。
９：30 ～ 10：30	挨拶・学習	自分で決めた学習をします。
10：40 ～ 11：40	活動	その日の活動をします。
11：50 ～ 12：50	昼食	みんなでお弁当を食べます。
	昼休み	自由に過ごします。
13：00 ～ 13：30	学習	自分で決めた学習をします。
13：35 ～ 13：45	掃除	教室と廊下を掃除します。

※昼食はお弁当を持参してください。

※活動内容によって、日課が変わることがあります。

４）主な活動

- 学　　習　…　基礎学習、図工、書写、おもしろ実験などを行います。
- 自然体験　…　農業、園芸、散策、川遊び、ボートなどの体験をします。
- 社会体験　…　文化施設見学、奉仕作業を行います。
- 調理実習　…　食事・菓子作り、野外炊飯、餅つき、流しそうめんを調理します。
- 創作活動　…　手芸、木工、かかし作り、陶芸、バードカービングを行います。
- スポーツ　…　卓球、グラウンドゴルフ、ソフトバレーなどを行います。
- 人間関係作り　…　ソーシャルスキルトレーニングを実施しています。
- 集団への参加　…　チャレンジ教室への参加、地域との交流を行います。

とびうお教室

「とびうお教室」は、浜松市西区舞阪町の舞阪協働センターの３階にあります。JR 弁天島駅から、歩いて８分ほどです。豊かな自然に恵まれていて、教室の窓から弁天島の赤い大きな鳥居が見えます。

「とびうお教室」は、比較的少人数の教室です。学習やゲーム遊びなどを通して、みんなで仲良く過ごしています。また、工作・調理・軽スポーツ・海釣りなどの活動も取り入れて、楽しく過ごすことにも力を入れています。

「とびうお教室」は、次の３つを活動の柱にしています。

１）生活のリズムを確立する

月・火・水・木曜日の９時から１４時まで教室が開いています。起床や朝食などの時刻を決めて、規則正しい生活ができるように心がけましょう。メリハリのある生活は、健康の維持につながります。

２）学習に取り組む

午前に 30 分と午後に 30 分ずつの学習の時間があります。一人一人の理解度に合わせて、自主的にプリントや問題集を進めます。分からないところや自信のないところは、指導員がサポートします。じっくり考えながら粘り強く学習して、少しずつ理解を深めていきましょう。

３）仲間たちとの交流を深める

日課の中の「とびうおタイム」は、仲間たちとの交流の時間です。学年の枠を越えて、おしゃべり・ゲーム遊び・軽スポーツなどに積極的に参加して、一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。友だちができると、教室での時間がさらに楽しくなります。

１）活動場所

舞阪協働センター

〒４３１－０２１１　浜松市西区舞阪町舞阪　２７０１―９

・遠鉄バス　舞阪町内弁天島温泉・湖西方面「舞阪協働センター」停留所下車

・ＪＲ　　「弁天島駅」下車　徒歩にて８分

とびうお教室　TEL　０８０－１５６６－０１００

２）開室日時

開室日 … 月曜日～木曜日　　９：００ ～１４：００

休室日 … 金・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって、日時が変わることがあります。

３）「とびうお教室」の１日の流れ

時　間	日　課	内　容
９：00 ～　９：30	朝の準備	登室し、友達とゆっくり過ごします。
９：30 ～　９：40	朝の会	今日の活動の流れを確認します。
９：40 ～ 10：30	学習①	各自で用意した問題集などを進めます。
10：30 ～ 11：30	とびうおタイム①	ゲーム・おしゃべり・読書などで自由に過ごします。
11：30 ～ 12：20	昼食・昼休み	お弁当を食べて、一休みします。
12：20 ～ 12：50	学習②	各自で用意した問題集を進めます。
12：50 ～ 13：50	とびうおタイム②	ゲーム・おしゃべり・読書などで自由に過ごします。
12：55 ～ 13：00	帰りの会	今日を振り返り、次の日の確認をします。

※昼食はお弁当を持参してください。

※活動内容によって、日程が変わることがあります。

４）主な活動

・学びの体験　…　各教科の学習をそれぞれのペースに合わせて実施します。

・自然の体験　…　海釣り・散策などを行います。

・社会体験　　…　文化施設見学・図書館利用をして過ごします。

・食の体験　　…　調理実習などを行います。

・創作の体験　…　図画工作・手芸などそれぞれ作品を作ります。

・運動の体験　…　舞童夢で卓球・バドミントンなどを行います。

・その他の活動 …　ゲーム（トランプ・ウノなど）・パズルなどで遊びます。

ひまわり教室

ひまわり教室は、気賀関所近くの、みをつくし文化センターで活動しています。

教室では、自分で決めた学習をしたり、教室の仲間と一緒に交流活動をしたりします。学習は、自宅から持ってきたドリルや問題集をやります。また、教室にあるスマイルプリントやタブレットを使って学習することもあります。

交流活動では、工作、調理実習、ボランティア活動、読書活動、軽スポーツ、ゲームなどをしています。工作では、折り紙、ミニカード、季節の壁飾り、フエルトを使った小物を作ります。

調理実習では、昼食になるような料理、デザートや焼き菓子などを作ります。みをつくし文化センターには、調理室があるので、幅広い料理を作ることができます。

奉仕活動では、月に一回みをつくし文化センターの駐車場の草取りをします。毎日通うところなので、お世話になっているという気持ちで心を込めて活動しています。

読書活動では、自宅から持ってきた本や、近くの細江図書館で選んだ本を読みます。

軽スポーツでは、教室内で卓球をしたり、関所近くの広場でフリスビーをしたり、ボール投げをしたり、かけっこをしたりします。緑に囲まれた広場で気持ちよく運動をすることができます。また、仲間とトランプやウノ、オセロ、将棋などのゲームをすることもあります。

教室に通うことで、自分ができることを見付け、自信を持ち、自分で考え行動できるように指導員が支援しています。

１）活動場所

みをつくし文化センター

〒431-1305 静岡県浜松市北区細江町気賀３６９

・気賀駅　徒歩１分

・遠鉄バス　気賀駅前バス停　徒歩２分、本陣駅前バス停　徒歩５分

ひまわり教室 TEL：090－7021－4190

２）開室日時

開室日：月曜日～木曜日　９：００～１４：００

休室日：金・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって、日時が変わることがあります。

３）「ひまわり教室」の１日の流れ

時　間	日　課	内　容
9:00 ～ 9:30	朝の準備	読書や絵を描いたりして過ごします。
9:30 ～ 9:35	あいさつ・ラジオ体操	朝の挨拶をして一日の予定を伝え、ラジオ体操をします。
9:40 ～ １0:20	学習①	自分で決めた学習をします。
１0:20 ～ １2:00	交流活動①	曜日によって活動が変わります。
１2:00 ～ １2:30	昼食	持参したお弁当を食べます。
１2:30 ～ １3:00	交流活動②	散歩やカードゲームをして過ごします。
１3:00 ～ １3:30	学習②	自分で決めた学習をします。
１3:30 ～ １4:00	片付け・清掃・振り返り・帰りの会	各自出席カードに一日の振り返りを書き、翌日の予定を伝えます。

※昼食はお弁当を持参してください。　※活動内容によって、日課が変わることがあります。

４）主な活動

・月一回調理実習を行っています。学期に一回は季節のメニューを取り入れたり、クッキーなどのお菓子作りをしたり、子どもたちと相談しながら計画しています。

・毎週水曜日は軽スポーツを行っています。卓球や、近くを散策したり広場でフリスビーや鬼ごっこをしたりして体を動かしています。

・ＳＳＴを隔週木曜日に行っています。隔週火曜日に、近くの図書館を利用し、本に親しむ時間も作っています。

・学期末にお楽しみ会をします。ビンゴ大会など子どもたちがやってみたい事を尊重し、一緒に計画して、楽しみを共有する時間を持つことができます。

・月一回奉仕活動を行います。建物の周りの草取りや、清掃活動をしています。

まつのき教室

まつのき教室は、いきいきプラザ天竜川２階、東部保健福祉センター内にあります。JR天竜川駅から歩いて８分ほどです。

一人ひとりに寄り添い、子どもたちが安心できる居場所となって、学校復帰や社会的自立を支援しています。

教室での毎日の活動は、日課に合わせて行っていきます。

ふれあいタイムでは子どもたち同士の交流を深めることを中心に活動しています。また、読書など、ひとりで集中できる時間としても活用しています。学習タイムでは、自分の学習課題に取り組み、まつのきタイムでは、ものづくり体験などを行います。

隔週火曜日には、心理士による、ソーシャルスキルトレーニングを行います。

散歩・七夕・クリスマス会・節分・遠足など教室独自の、季節にあった活動に加え、各教室共通のチャレンジ教室へ参加し、楽しみながら取り組んでいます。

普段から、家庭や学校との情報交換を密にし、連携を深めていくことで、子どもたちの支援に役立てたいと考えています。

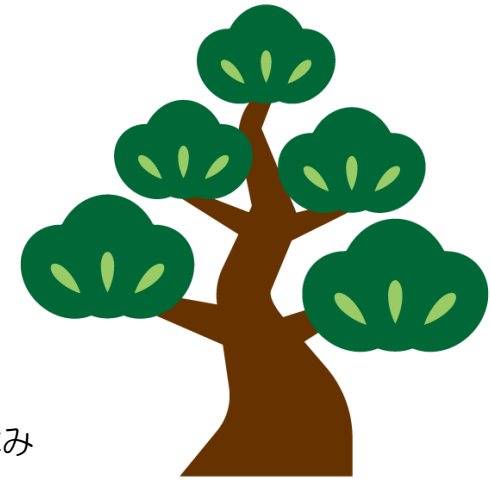
１）活動場所

いきいきプラザ天竜川（２階東部保健福祉センター）

〒４３５－００３７　浜松市南区青屋町３００

・ＪＲ天竜川駅南口　徒歩８分

まつのき教室ＴＥＬ：０８０－１５８３－１６５８



２）開室日時

開室日：月曜日～木曜日　　９：００～１４：００

休室日：金・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって、日時が変わることがあります。

３）「まつのき教室」の１日の流れ

時　間	日　課	内　容
９：００～	ふれあいタイム①	カードゲームや読書などを行います。
１０：１０～	学習タイム	自分の課題に取り組みます。
１１：００～	まつのきタイム	ものづくり体験やスポーツ、散策などを行います。
１２：００～	ランチタイム	みんなでお弁当を食べます。
１２：３０～	ふれあいタイム②	教室の友達とのふれあいを深めます。
１３：３５～	基礎トレタイム	基本的な学習をします。
１３：４５～	振り返り・清掃	一日の振り返りを記入します。
１３：５０～	帰りの会	次の日の活動などを確認します。

※昼食はお弁当を持参してください。

※活動内容によって、活動時間が変わることがあります。

４）活動内容

- ふれあいタイム①②　…トランプ、ＵＮＯ、オセロ、将棋、また、読書などひとりで集中する活動もします。
- 学習タイム　…教科書やワークを持参し、各自で自分の課題に取り組みます。
- まつのきタイム　…ものづくり体験（プラバン、折り紙、手芸など）＆スポーツ(卓球、バドミントン…など)、散歩などを行います。
- まつのき教室の行事　…クッキング、クリスマス会、豆まき、遠足などを実施します。
- 体験学習・自然体験　…個々の状態に応じて、まつのき教室の行事や、チャレンジ教室の行事に参加できます。
- フレッシュタイム　…交流活動・ＳＳＴを行います（隔週火曜日）。

ふれあい教室

ふれあい教室は浜松市立青少年の家の２階に教室があります。子どもたちは中区はもちろんのこと、南区や東区など広範囲から通ってきます。また、学校とは異なり小学校低学年から中学３年生までのいろいろな年齢の子どもたちが交流し、助け合って仲良くゲームや行事などに取り組んでいます。

浜松市立青少年の家は浜松市の中心部の閑静な住宅街にあり、自然にとても恵まれた環境にあります。教室の窓からは木の上をリスが走る姿や色々な鳥がやってくる様子を見ることもできます。

施設の中にはキャンプ場や野外炊飯場などもあり、樹木のなかを散策することもできます。たとえば、かまどを使ってみんなでバーベキューをやったり、ピザ釜を使って自分の好きなものをのせてピザを焼いたりすることもできます。４月頃にみんなでタケノコ掘りをやることもあります。また、施設の前には広場があり、そこで鬼ごっこをやったりボール遊びをしたりグランドゴルフやサッカーをすることもできます。雨の日などは施設内にあるホールを使ってバドミントンや卓球をすることもできます。

絵を描くことが得意な子どもたちは自分の好きなキャラクターなどを描いたり、折り紙が得意な子どもはいろいろな大きさの紙で作品をつくったりします。それらの作品は私たちおとながびっくりするほどのすばらしい作品です。

子どもたちは様々な力を持っています。運動の得意な子ども、工作が得意な子ども、その他本当に多くの能力や特性を子どもたちは持っています。そんな子どもたちに寄り添いながら一人一人の能力や特性を大切にしたいと私たちは思っています。そして、子どもたちが安心して居ることができる『居場所』でありたいと考えています。

１）活動場所

浜松市立青少年の家

〒430-0906　浜松市中区住吉４丁目 23-1

・遠鉄バス　山の手医大線

「青少年の家入り口」徒歩７分

ふれあい教室 TEL：080－2619－5012

２）開室日時

開室日：火曜日～金曜日　　９：00～14：00

休室日：月・土・日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み

※活動内容によって、日時が変わることがあります。

３）ふれあい教室の一日

時 間	日 課	内　容
９：３０～１０：１５	ふれあいタイム①	カードゲームをしたり、絵を描いたりゆっくりと過ごします。
１０：２０～１０：５０	学習タイム①	自分で決めた勉強をします。
１１：００～１１：３０	学習タイム②	なるべく曜日ごとに決めた教科を進めます。
１１：３０～１２：００	ランチタイム	食堂でみんなでお弁当を食べます。
１２：００～１３：４０	ふれあいタイム②	行事活動の他、みんなでホールや公園で遊びます。
１３：４０～１３：５０	ふりかえりタイム	自分がやったことなどを振り返りカードに記入します。
１３：５０～１４：００	帰りの会	

※昼食はお弁当を持参してください。※活動内容によって、日程が変わることがあります。

４）主な活動

- 青少年の家のホールや近くの広場で、卓球・バドミントン・ドッジボール・鬼ごっこなどをやったり、みんなで協力してクッキングなどを行ったりしています。
- 季節の行事として、ハロウィーンやクリスマス会ではみんなで飾り付けをしたり、ゲームをしたりして楽しみます。
- 木曜日には心理士による SST の活動があります。

ふれあい教室内　個別対応型まなびの教室

個別対応型まなびの教室は、令和元年度からふれあい教室内（同じ青少年の家内）に開設されました。児童生徒一人ひとりに寄り添いながら、学校復帰や社会的自立を支援する教室です。青少年の家の和室（約１０畳）を利用して児童生徒が活動します。（教室写真参照）活動は、できることから始め、無理のない日課で取り組みができるように配慮されています。

入級時には、児童生徒が安心できる居場所となるよう、保護者・児童生徒・教育総合支援センター・学校と連携をとり、支援態勢を整えています。また、保護者面談会、担任面談会、学期の終わりには親子面談会（お話しタイム）などを行っています。

年間行事としては、チャレンジ教室（各教室共通）などへの参加を予定しています。参加については、各自で判断します。また、ふれあい教室の行事にも希望があれば参加できます。

コラム②　ミニチャレンジ教室の紹介

ミニチャレンジ教室は各教室が企画運営をします。対象は、主に企画した教室に通う児童生徒・保護者、希望したその他の教室に通う児童生徒・保護者及び、浜松市内の小中学校に通う不登校の状態の児童生徒・保護者になります。年間 10 回程度、それぞれの施設や設置場所を生かした特色ある体験活動を企画しています。今までの企画は、さつま芋掘り、森で遊ぼう、ウォークラリーなどがありました。

令和 4 年度の森で遊ぼうでは、児童生徒、保護者、関係者合わせて５０名が参加しました。小規模での実施となりますので、参加しやすい活動になっています。

学校では味わえない体験活動に親子で参加出来てうれしかった。（保護者）

収穫したじゃがいもをどうやって食べようかとても楽しみだ。

一年を通して企画してあるので、子どもの調子に合わせ参加出来、とても楽しみにしている。（保護者）

３．校外まなびの教室への入級までの流れと役割

校外まなびの教室に入級するには、まず教室を**見学**し、教室の雰囲気を味わってもらい、その後、**体験**をしてから**入級**となります。役割は以下の通りです。流れは P32～P34 のチャートをご確認ください。

※書類関係は【　　】で記載。

見学：まず校外まなびの教室を知ってもらえたらと思います。

子ども・保護者 … 学校に「校外まなびの教室を見学したい」と伝えます。
見学日に**【見学願い】**用紙を持参し、教室長に渡します。

各小中学校 … ①教育総合支援センター(支援課)へ「見学希望者がいます」と伝えます。
②保護者に、決定した見学日を伝え**【見学願い】**用紙を渡します。

教育総合支援センター(支援課)…校外まなびの教室の業務統括者に希望者がいることを連絡します。

校外まなびの教室 … 業務統括者が対象の教室長と見学日を調整し、学校へ連絡します。

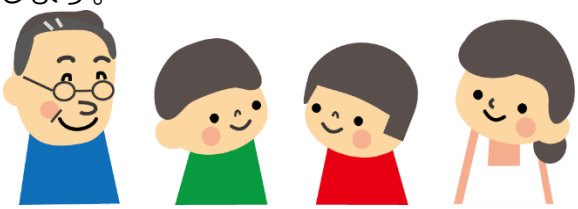
体験：どんな風に過ごすかを実際に体験します。

子ども・保護者 … ①学校に「校外まなびの教室の体験をしたい」と伝えます。
②学校に**【家庭調査票】**を提出します。

各小中学校 … ①保護者に**【家庭調査票】**を渡します。
②**【体験依頼書】**を作成します。
③**【体験依頼書】**と**【家庭調査票】**を教育総合支援センター(支援課)へ提出します。
④体験希望の教室長と面談を実施します。

教育総合支援センター(支援課)…校外まなびの教室の業務統括者へ希望者がいることを連絡します。

校外まなびの教室 … 学校と面談日の日程調整をします。



入級：過ごしてみたいと思った教室へ入級します。

子ども・保護者 … 学校に「校外まなびの教室へ入級したいです」と伝えます。

各小中学校 … ①保護者の意向と体験の様子から学校長が入級の判断をします。

②**【入級通知書】**を作成し、教育総合支援センター(支援課)へ提出します。

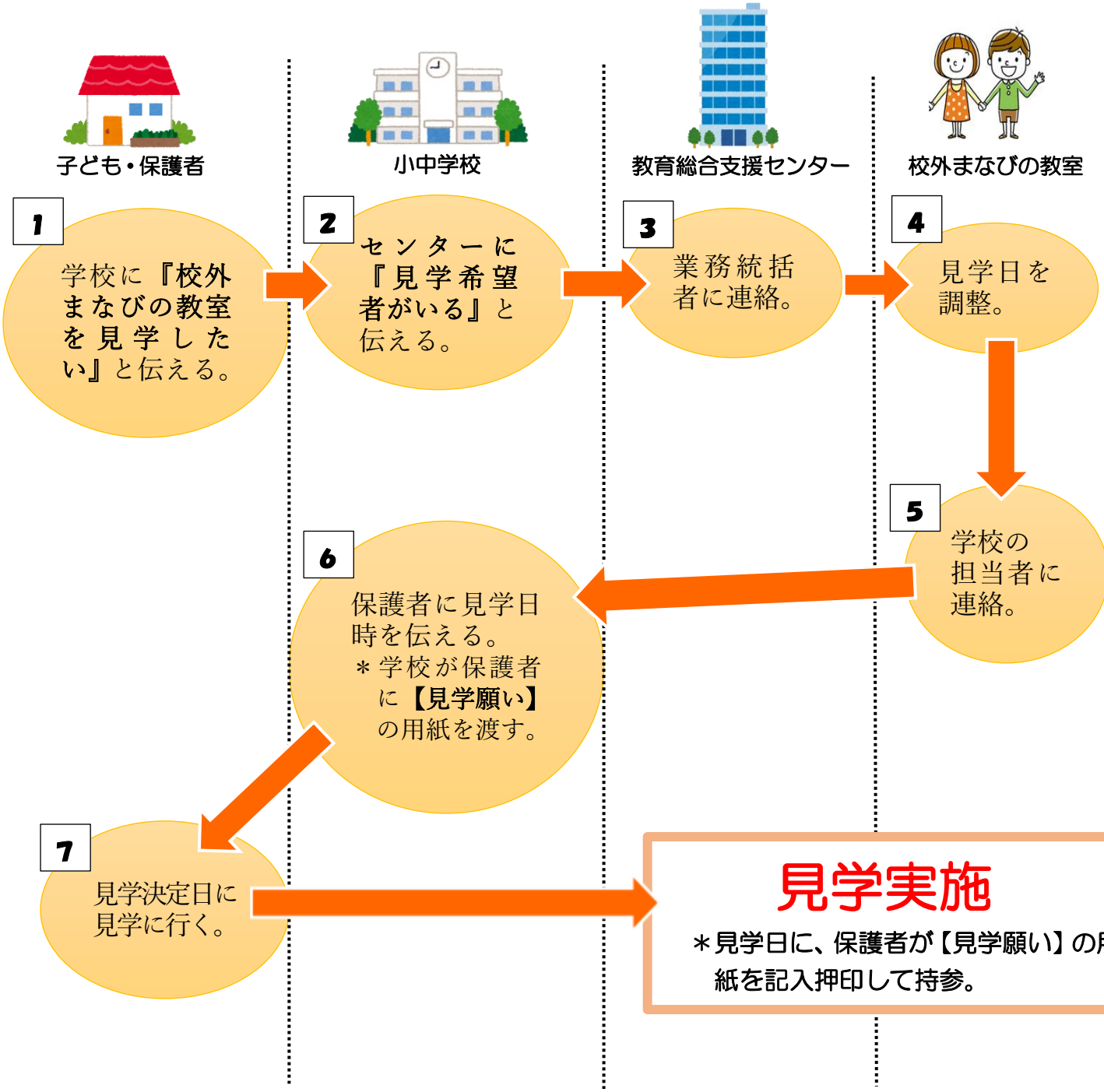
教育総合支援センター(支援課)…校外まなびの教室の業務統括者に入級希望者がいると連絡します。

校外まなびの教室 … ①体験中に教室長が子どもと保護者に入級の意向を確認します。体験期間はおよそ２週間程度とします。

②教室長が学校に体験時の様子を報告します。

③教育総合支援センター(支援課)からの報告を受け、業務統括者から入級希望の教室長へ連絡します。

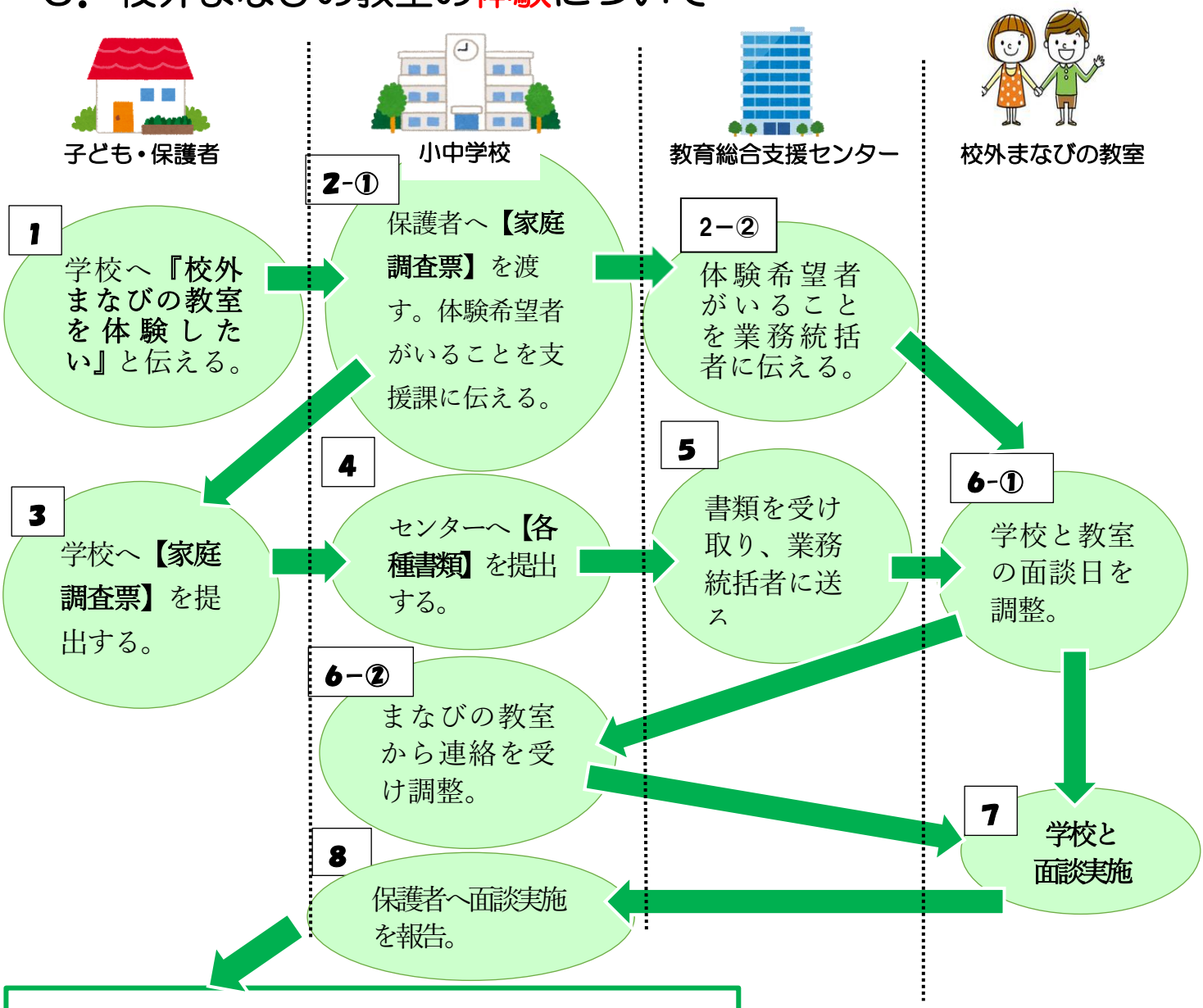
4．校外まなびの教室の見学について



★見学は教室の説明とミニ面談を含めて30分程度です。

★見学後に、校外まなびの教室を利用したいと思った場合、2 週間(8日間)程度の体験の後、入級の検討をしていただきます。

5．校外まなびの教室の体験について



学校と教室長の面談後に『体験開始』

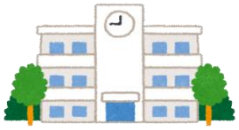
★体験開始の日程は、学校から保護者にご連絡します。
★体験中に教室長が本人＆保護者との面談を行わせて頂きます。

まずは、学校の先生に
『校外まなびの教室の体験をしたい』
と伝えて下さい。

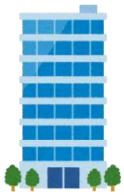
６．校外まなびの教室の入級について

２週間（８日間）程度体験後

子ども・保護者



小中学校



教育総合支援センター

校外まなびの教室

1

学校へ『入級したい』と伝える。

2

入級の意向を確認。
＊学校に体験の様子を報告します。

3

【入級通知書】を作成し、教育総合支援センターへ提出する。
＊学校長が入級の判断をします。

4－①

入級通知書を事務局に送る。

4－②

入級の許可が出たことを保護者に連絡。

『入級決定』

★入級後、毎月、校外まなびの教室への登室状況を学校に報告します。

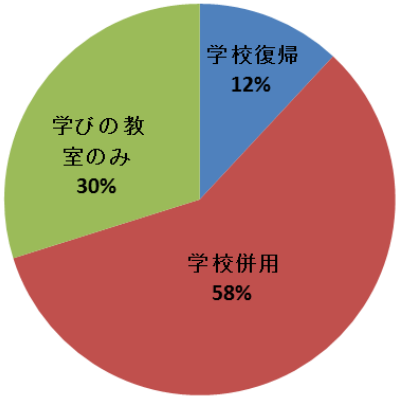
★各教室の便りを学校に送ります。

★保護者の了解を得て、始業式・終業式の案内や担任面談などで学校と情報共有させて頂きます。

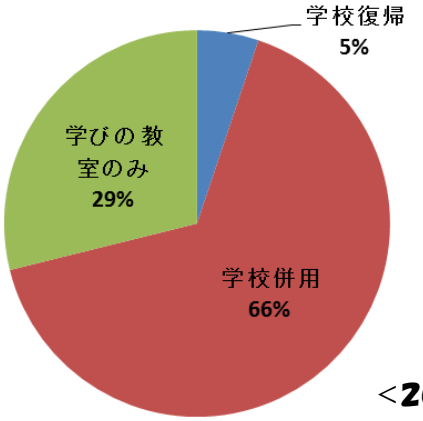
7．入級後について

1）所属校への復帰率　※完全復帰・並行利用の両方を含む

小学生の復帰率



中学生の復帰率

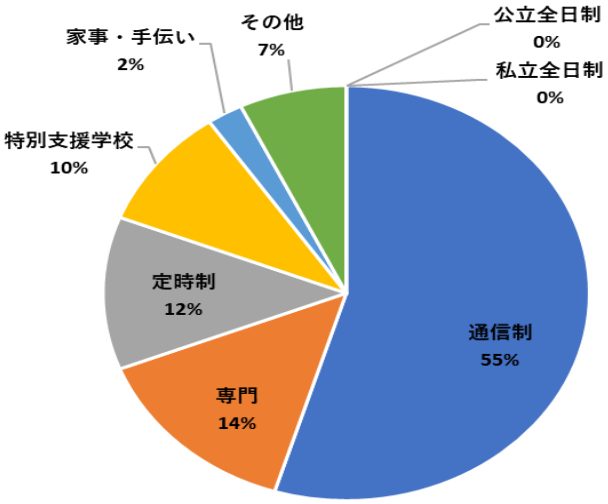


＜2023年度＞

学校復帰		学校併用		
小学生	中学生	小学生	中学生	合計
8	5	39	64	116

※令和3年度校外適応指導教室登録児童生徒数：小学生67名、中学生97名、計164名

2）中学校卒業後の進路について



＜2023年度＞

公立全日制	私立全日制	定時制	通信制	特別支援学校	専門	家事・手伝い	その他	合計
0	0	5	23	4	6	1	3	42

※その他：入所型訓練施設（1名）や若者相談支援事業（1名）の利用、転居（1名）

＜進学先＞

静岡中央高校、黄柳野高校(愛知)、桜丘高等学校(三重)、浜松学院高校、浜松北高校（定時制）、新居高等学校（定時制）、N 高等学校、第一高等学院、キラリ高等学校、クラーク記念国際高等学校、笹田学園専門学校 …etc

8、校外まなびの教室Q&A

Q1　校外まなびの教室は、どんな子どもたちを対象としていますか？

A：浜松市内の小・中学校に在籍している不登校の状態にある児童生徒です。まずは、教室の見学をして頂きます。学校の先生にご相談ください。

Q2　見学はいつでも自由にできますか？

A：いいえ、事前に見学の日程を調整させていただきます。子どもたちの指導により、指導員が対応できない時もあります。見学の日時は、学校を通して、お子さんや親御さんの予定や教室の予定などを考慮して決めさせていただきます。

Q3　自分の住んでいる学区の教室しか通うことはできませんか？

A：学区外の教室にも通えます。教室を見学していただき、通いやすい教室を見つけてください。

Q4　登室するとき、服装や持ち物はどうしたら良いですか？

A：服装は、制服・私服のどちらでも構いません。動きやすい服装でお願いします。持ち物は、筆記用具、学習用具、うち履きシューズ（必要な教室のみ）等です。午後まで活動する際には、お弁当が必要です。

Q5　毎日、登室しないといけませんか？途中で帰っても大丈夫ですか？

A：毎日登室する子、自分で登室する曜日を決めて来る子、学校と並行で登室する子など登室の仕方は様々です。

　子どもたちが自分が通いやすいリズムを選んで登室しています。無理をせず、毎日の調子に合わせて登室してください。朝、気分が悪いとき、途中で調子が悪くなったとき、遅刻や早退をしても大丈夫です。

Q6　朝早く起きれないのですが、時間通りに登室しなくてはならないのですか？

A：一人ひとりのリズムを大切にした登室を考えています。初めは無理をせず通える時間に来て、少しずつ生活のリズムを取り戻していきましょう。

Q7 学校のように勉強するのですか？

Ａ：日課表の学習の時間に、個別学習を行います。指導員が関わりながら、取り組める課題から実施していきます。個に応じたプリントを用意したり、家庭で用意した教材や学校から配布された教材に取り組んだりして、個々の能力に合わせて対応しています。また、学力を高めるだけでなく、自信や苦手なことに取り組める気持ちを育むことも大切にしています。タブレットなども積極的に活用しています。

Q8 校外まなびの教室に行くと進学・進級はできるのですか？

Ａ：校外まなびの教室に入級しても、私立高校・公立高校・サポート校など様々な高校へ進学しています。進学や進級の主な相談先は学校の担任の先生ですが、指導員もお子さんや親御さんと日々、お話ししながら一緒に考えていきます。子ども・保護者、学校、校外まなびの教室との連携が大切になります。

Q9 通級の方法について教えてください。

Ａ：小学生は保護者の送迎でお願いいたします。中学生は徒歩・自転車・保護者の方の送迎でも大丈夫です。自転車で通級する際は、自転車通級願いの提出が必要です。在籍校へ申し出てください。また、ヘルメットを着用して来てください。

Q10 書字障害を抱えていて、普段からタブレットを使っていますが、教室の学習などで使えますか？

Ａ：利用しているお子さんもいます。活動内容に合わせて、教室の指導員と相談しながら利用してください。

Q11 校外まなびの教室で相談したいときはどうしたら良いですか？

Ａ：活動の中で子どもたちに丁寧に関わり声をかけています。個別で話がしたいときなどは、時間をとりゆっくりお話しを聞かせていただきます。学期ごとに子どもと保護者との個別面談を実施しています。また、公認心理師や臨床心理士との面談を行うことが出来ます。

9、子ども・卒業生・保護者の声

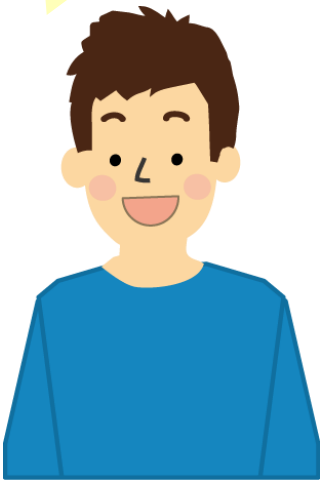
学校に行けない時に、教室に来ることで、外に出る機会ができるし、人とコミュニケーションをとることができるところがいい。（中学生）

学習をやり終えた後に、ふれあいの時間があり、友達とコミュニケーションが取れて楽しい。（中学生）

学校に全く行けないよりも、まなびの教室に行くことで、心が軽くなるし、頑張って学校に行ってみようかなという気持ちにもなる。（中学生）

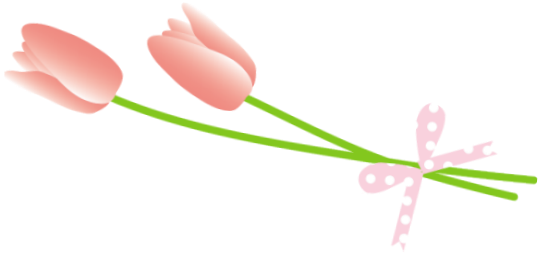
遅刻・早退扱いがないので、無理せずに自分のペースで通えるところがいい。（中学生）

教室に来たほうが、勉強が集中してでき、はかどる。（中学生）



恐かったり、面倒だったりした時の自分が踏み出した一歩が今の自分の大きな自信になっています。（平成 28 年度卒業生）

まなびの教室に通ったことで、自分の居場所を見つけることができ、楽しい思い出がたくさん出来ました。（平成 25 年度卒業生）



２年間、まなびの教室でみんなと一緒に楽しい毎日でした。田植えや稲刈り、川遊びなど貴重な経験をしました。（令和元年度卒業生）

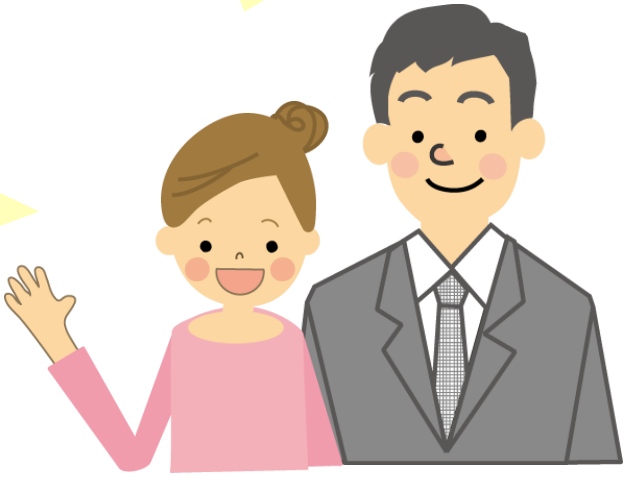
友達もでき、色々な経験をさせてもらい、少しずつ自分に自信が持てるようになりました。（保護者）

気の合う友達もみつかったようで、教室の話や、友達の話をしてくれるようになりました。（保護者）

陶芸教室やマス釣りなどの、普段なかなか経験させてあげられない体験をさせていただき大変感謝しています。（保護者）

２年間、まなびの教室でのびのびと生活することが出来ました。心も穏やかになりました。（保護者）

いつもにこにこしながら教室から帰ってきました。子どもにとってとても居心地の良い場所でした。（保護者）



＜NPO 法人はままつ子どものこころを支える会（すまいる）について＞

人間関係の希薄化、母子の孤立、虐待など、子どもの育つ環境は悪化の一途をたどっています。こうした状況を少しでも改善するため、浜松市の“地域から教育を支えていこう”と、日々子どもたちと向き合い、関わっている有志により、2014 年 7 月、勉強会が立ち上がりました。現代の子どもたちの姿や現状が改めてわかってくると、やはり“地域で子どもや教育を支える組織”が必要との結論に至り、2015 年 12 月に〈すまいる〉を設立しました。　子どもは大人に大事にされたり、守ってもらったりする中で、試行錯誤しながら成長していきます。もちろん失敗や傷つくこともあると思いますが、そんな場合もきちんと寄り添い、支えながら、大人になるのを丁寧に見守ってあげなければなりません。それを地域ぐるみでできるようにしたいというのが私たちの基本的な理念です。主な活動の一つとして、保育士や幼稚園・小中学校の教員を対象に、子どもの理解を進めるための“人材育成や研修会”として、『中学校区事例検討会』や『ピンポイント研修会』などを行っています。また、2018 年 4 月からは、浜松市内に10カ所ある『校外まなびの教室』の運営も行っています。子どもたちが安心して過ごせる場所を子どもたちと一緒に作っています。

★NPO 法人はままつ子どものこころを支える会 HP　https://www.kodomosmile.net

★浜松市校外まなびの教室 HP　https://tekiou.kodomosmile.net

★『NET de びぶれ』にてすまいるの特集記事が掲載されています！
https://www.vivere.jp/news/0915kanto_futoukousien_kougaitekiousidoukyousitu/

NPO 法人
はままつ子どものこころを支える会（すまいる）
〒435-0055　浜松市中区十軒町５６番地
TEL：053-570-8142
FAX：053-570-8143
すまいるＨＰ：
https://www.kodomosmile.net/
校外まなびの教室（旧校外適応指導教室）HP：
https://tekiou.kodomosmile.net/